

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2016.10.1 発行責任者 島崎栄一

～新パッケージでのお届け開始～ 順次更新予定

新米のご挨拶

今年も黄金色の穂が頭を垂れ、10月から平成28年産新米を皆様にお届け致します。夏の暑さと、幾多の台風による自然災害、国の将来を考える参議院選挙を経て TPP や平和を考える初回問題にも影響されずに今年も美味しいお米が出来ました。山形の味、置賜の味をご賞味下さい。

今年、山形おきたま産直センターを牽引していく役員、運営委員、事務局体制が新しくなり中心メンバーは20代から40代前半に若返りました。(組合長、専務は50代です。)

これからも山形おきたま産直センターの基本理念を重視して進めていきます。

- 柔軟で楽しい発想を発信して、日本の職を末永く生産していきます。
 - 引き続き「有機栽培」や「特別栽培(減農薬栽培)」を軸に生産の技術を高めて「環境保全型」の生きものいっぱいのお米づくりをします。
 - 消費者との交流を深めて、笑顔になれる関係を築いていきます。
- 消費者の皆様と我々生産者が、共に日本の食・環境・平和を考えて安全で豊かな日本にしていきたいと思います。



(農)山形おきたま産直センター 代表理事組合長 竹田 久一

稲刈り

青年部 大友 和志

稲刈りのシーズンが来ました。今年は雨降りが続いた為、田んぼの乾きが悪く稲刈りが少し遅れています。稲刈りはコンバインと言う機械を使い、刈り取られ脱穀されます。1反=10アール(100m・×10m・)の刈り取りで約20分位掛かります。

この後、乾燥機に入れ水分調整、籾摺り、袋詰めをして、集荷場に集められ検査されます。そこで等級が決められ出荷されます。今年も丹精込めて育てたお米を是非ご賞味下さい。



第16回「秋の大収穫祭」開催

お盆が過ぎ9月に入ると秋の気配と共に稲穂が色づき、収穫の時期を迎えます。

2001年から始まり今年16回を迎えた秋の大収穫祭はこの時期の恒例のお祭りです。

今年は頻発する台風の影響を心配していましたが、当日は雨の降る中250名以上の来場者を迎え、会場は熱気と笑い声に満ち、大盛況のうちに幕を閉じました。

祭りのメイン料理豚の丸焼きは、今年完璧な焼き上がりで焼肉と同様に開始早々行列となりました。綿あめには子どもたちの列ができ、昨年からはじめたフライヤーのポテトフライは定番メニューとなりそうです。それから、毎年協力いただく地元婦人部“こぶしの会”の手料理や地元豆腐屋さんの豆腐料理はそれを楽しみにされている方がいるほど好評で、運営にあたるスタッフにとっては力餅ならぬ力飯となります。

また、会の後半の抽選会は産直センターの農産物をはじめ、当センターが日頃からお世話になっている地元業者さんや取引先の方々から提供頂く魅力的な商品が並び、こちらも大盛り上がりでした。

大収穫祭が終わると収穫の本番、稲刈りスタートです。

収穫の喜びと共に今年も美味しい新米を皆様にお届けしたいと思います。



新米アンケート実施

いつも産直米をご利用頂き誠にありがとうございます。

日頃の感謝を込めて、今年もアンケートにご協力を頂いた方の中から抽選で30名様に山形の旬の味覚をプレゼント致します。新米アンケートにご協力の程、よろしくお願い致します。

同封したアンケートハガキにご記入頂き、ご希望のプレゼントに○の上ポストにご投函下さい。

当選された方には12月中旬頃、商品をお届け致します。お楽しみに！



産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。

急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO _____ (納品請求書の左上 5桁の NO) FAX 送信日 月 日

氏名 _____ 様 電話 _____

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～